

らしんばん

議会報告



2017年2月議会号
発行日 / 3月31日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所



吉永北地区菜の花の里まつり

目次

- 1. 平成29年度予算の審議 内容から P1
- 2. 常任委員会 総務委員会 での主な論戦から P2
- 3. 富士山世界遺産センター (仮称)の完成へ P2・3
- 4. 自主防災組織実態調査 P3
- 地域の課題と進捗状況 P2・3
- 5. 議会外の視察・研究報告 P4
- 政務活動費制度見直し P4
- 2月議会で決定した 国へ提出される意見書 P4
- ホットなつぶやき P4
- 県政相談窓口 P4

ハイライト



静岡県・富士市の政財界代表が今年の抱負を語る。



伊豆半島生涯活躍のまちづくりで養老猛氏が講演。



静岡・山梨県主催「富士山の日フェスタ2017」。



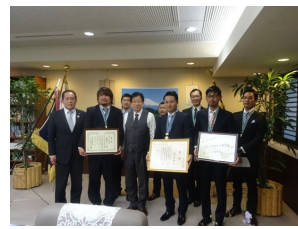
知事から次年度予算に反映された要望結果を聞く。



2月定例会の上程議案を会派に説明する県幹部。



地方創生推進特別委員会報告書を議長に提出。



全国茶生産青年茶審査技術審査会の優勝報告。

1. 平成29年度予算の審議内容から (2月20日～3月16日まで開催)

知事は、来年度が10年間の総合計画を実質7年1ヶ月で仕上げる計画に改め、進捗状況を「ふじのくに」白書として公表し、後期アクションプランの総仕上げを目指すとしています。我が会派では、独自の「県政評価」を行い、本議会を通じて知事の見解を質しました。

三つの基本方針が示され、一つ目の「『ジャパニーズドリーム』の展開と発進」では、東京五輪・ラグビーワールドカップなどを意識したスポーツの聖地づくりと「スポーツ王国しずおかの復活」、CNFなど世界水準の次世代産業の展開、マーケティング戦略を組み入れた農業振興、世界に開かれた観光・通商・外交の実践、世界クラスの地域資源や人材(46件)の発信、すべての子どもを大切に社会づくり(児童虐待対策等)の5戦略を掲げました。

二つ目の「「ふじのくに」づくりへの総仕上げ」では、大規模地震への万全の備え、内陸のフロンティアを拓く取り組み、新成長産業の育成と雇用創造、エネルギーの地産地消、人口減少社会への挑戦、多彩な人材を生む学びの場づくり、健康寿命日本一の延伸、富士山を活かした地域の魅力づくりの八つの重点取り組みを掲げました。

三つ目は、「将来を見据えた戦略的な行政運営」として、時代のニーズに適切に対応する機動的かつ能率的な組織づくり(経営管理部と政策企画部の統合や、全庁的な企画立案機能を知事直轄組織へ集約。また、危機管理を最重要施策とすることを組織上で明確にし、市町の

危機管理支援体制も強化)と、行財政改革の推進を掲げています。

平成29年度予算は、一般会計1兆2,058億円(前年度比約351億円、2.8%減)、特別会計4,743億1千万円(前年度比5.3%増)、企業会計605億4千4百万円(前年度比7.4%増)となります。

歳出の大きな特徴は、一般会計は教職員給与を政令市2市に委譲し、人件費が16.4%減少しますが、一般会計は実質的に前年比7億円、0.1%増となります。

注目される社会保障費(扶助費)は、子ども・子育て支援給付費負担金や後期高齢者医療給付費負担金が1,085億7千万円余で前年度比4.4%増となります。

歳入では、県税は法人事業税が企業収益の改善により増収効果が見込まれるものの、外形標準課税を拡大する税制改正の影響により全体としては減収となり、個人県民税の配当割、株式等譲渡所得割が減収となることから、4,820億円(前年度比2.8%減)で、地方交付税などを合わせた一般財源総額は、前年度比140億円程度の減となっています。

人件費や扶助費などの義務的経費は確保しなければならず、政策的経費予算は極めて厳しいこととなります。

平成28年度補正予算では、国からの交付金や補助金の決定に伴う補正となります。

今年度は、常任委員会は、総務委員会副委員長 特別委員会は、地方創生推進特別委員会副委員長
選挙区等調査特別委員会委員 子どもいじめ防止条例案検討委員会委員 に就任中



2. 常任委員会「総務委員会」での主な論戦から

経営管理部関係では、平成29年度の予算審議と平成28年度2月補正や、新しい組織改編についても審議が行われました。**詳細は1頁で触れていますのでそちらも参考にしてください。**財政が厳しい中、**人件費や社会保障費、借入金**の返済、**災害復旧費の義務的経費は毎年伸び続け、その反面、社会インフラ整備などの投資的経費は抑制的**とならざるを得ません。しかし、**県民の皆様からの要望実現のためには、投資的経費を増やさねばなりません。**

歳入が増えれば良いのですが、県税は4,820億円で昨年比-140億円、地方交付税は2,155億円で昨年比-170億円、これらの一般財源小計は9,199.57億円で昨年比-339.21億円となり、不足分を補うために県債(借入金)の発行や基金の取り崩しが行われます。

審議で注目された**財源捻出への取り組み**は、「歳入の確保」と「歳出のスリム化」があります。平成29年度は「**歳入の確保**」について、市町との協働等による**税込確保**で24.05億円、未利用財産の売却や有料広告の導入等で15.85億円の合計39.90億円を見積もりました。

「**歳出のスリム化**」では、補助金・団体負担金の見直しで13億円、事務事業の徹底した見直しで57.55億円、一般行政部門のスリム化で1.32億円、職員給与の見直しで1,100万円、退職手当の見直しで14.32億円、その他24.44億円など、合計110.74億円を見積もりました。

全体では150.64億円を捻出するとしています。

そのほか、以前、東京都知事の**旅費問題**で指摘された海外出張旅費の見直しや、静岡がんセンター機能強化の

ための職員定数の見直し、職員の育児休業等に関する条例改正、包括外部監査契約、県個人情報保護条例改正、行財政改革推進委員会の取り組み、事業レビュー、歴史的公文書の選別・保存・公開機能の充実、ファシリティマネジメントの実施状況などが審議されました。

危機管理部ほかでは、平成29年度組織体制や予算について、平成28年度2月補正、**地震津波アクションプログラム2013の推進**、富士山静岡空港の防災機能の強化、最近の東海地震とその周辺の地震・地殻活動および火山活動報告、**自主防災組織実態調査(特集として3頁で解説します)**、地震・津波・原子力災害に対応した防災訓練、消防団の充実強化、浜岡原子力発電所の状況、防災ヘリの更新などについて審議しました。

本県は巨大地震に対する備えと対策を実現するために、「**地震・津波アクションプログラム2013**」を策定し、10年間で4,290億円を投資し、10万人を超えると予想される死者数を8割減災させることを目標に取り組んでいます。策定から**3年を経過**したことから、**状況変化や事業進捗を踏まえた見直しに加え、熊本地震の教訓や法改正等を踏まえた新規アクションの追加**など、必要な見直しを行いました。

そのほか、出納局関係では次年度予算、前年度に実施した会計事務および物品事務指導検査、月毎の現金収支と基金運用状況について。人事委員会事務局からは前年度の県職員・警察官採用試験日程について。監査委員事務局からは、前年度監査実施状況等について説明があり、示された予算などの根拠や監査内容を審議しました。

3. 富士山世界遺産センター(仮称)の完成へ



富士宮市に建設中の富士山世界遺産センター(仮称)は、本年12月23日に開館となります。

富士山世界遺産は、「**信仰の対象と芸術の源泉**」と称されるように文化遺産としての根拠がその表現に集約されています。この文化価値をどのように発信していくか、また保存管理のあり方もユネスコの調査諮問機関であるイコモスから



御前崎から見た海越しの富士

最近では、適切な登山者数管理なども議論されていることが報道され、文化遺産とはいえ、自然環境保全も配慮することを意味しています。

静岡県立の富士山世界遺産センターのコンセプトは、「**守る**」、「**伝える**」、「**交わる**」、「**究める**」です。「**究める**」ための研究者は5名で、環境考古学、景観論、日本および東アジアの美術史・文化史、日本中世史、社会史、日本列島の人類学、環境人文学、日本近世文学、和歌文学などを専攻する方々で、富士山の第一級の研究者が揃いました。

世界遺産センターが今後発信する研究成果などは、地元住民にとっても大きな刺激となり、なお一層の富士山への誇りを持つことになるでしょう。

世界遺産センターの完成図

指摘されている課題でもあります。

地域の課題と進捗状況 (各地の要望から)



地元の市民安全大会。地域の安全は守られているというが、高齢者の交通事故や特殊詐欺の対策は強化すべき。



市内調理技術専門学校の料理コンテスト。本県の素晴らしい食材をいかに輝かせるか、将来のシェフに期待します。



沼川沿いの県道。地盤が弱いせいか大型車両通過による振動が問題。地元・運輸業界・行政を巻き込み対応を協議中。



東海・北陸B1ーグランプリの会場となった吉原商店街で、元祖「食によるまちおこし」を成功させた地元フルーツ店主と。



かぐや姫・霊峰に帰る

先日開催された「富士山の日フェスタ2017」では、静岡県舞台芸術センター（SPAC）による、

新たな富士山への誇りは、麓から外に向かって発信する機会が増えるとともに、ここに住む子ども達が富士山や地元にもっと関心を持ち、広く世界に発信することで地域の未来をつくることにつながります。

竹取物語「かぐや姫・霊峰に帰る」が演じられました。

よく知られている竹取物語では、「かぐや姫は月に帰る」ののですが、私の地元富士市比奈に昔から伝わる竹取物語は、「富士山に帰る」のです。

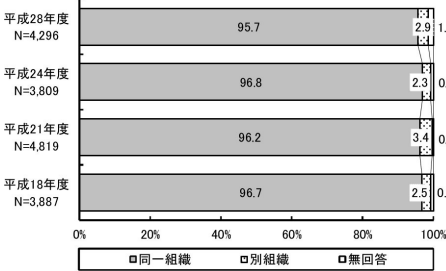
紹介の中では、私の地元のことにも触れていただきました。かねてより、富士市比奈の竹取物語を世に伝えていきたい思いがここで実現できたことは、大変光栄な出来事でした。



4. 自主防災組織実態調査結果(平成28年度)

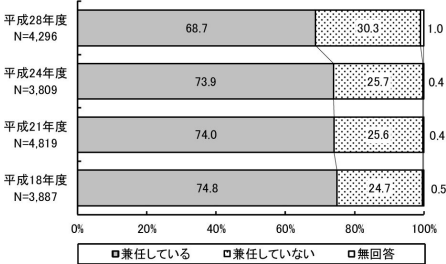
(詳細は、静岡県のホームページからダウンロードできます)

自主防組織と町内会組織が同一



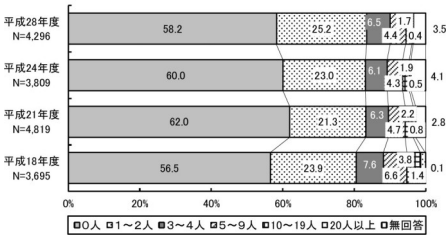
(解説)
自主防災組織はほとんどが町内会組織と同一です。

【自治会長との兼任】



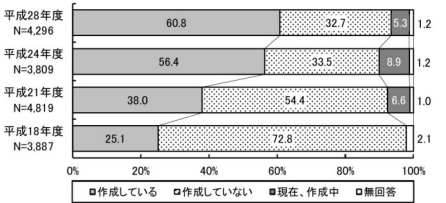
(解説)
平成28年度調査結果では、自主防災会長の専任化が進んでいます。

【女性の役員数】



(解説)
女性の役員数は「0人」が58.2%で最も多く、次いで「1~2人」が25.2%などとなっています。経年比較では、平成21年度以降「1~2人」が増加傾向。

【災害時要援護者台帳の作成状況】

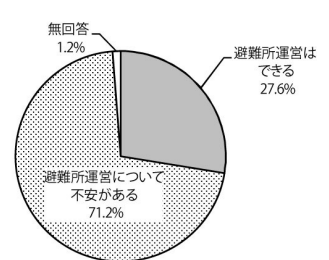


(解説)
要援護者台帳は個人情報の制限がある中でも2/3が作成されています。

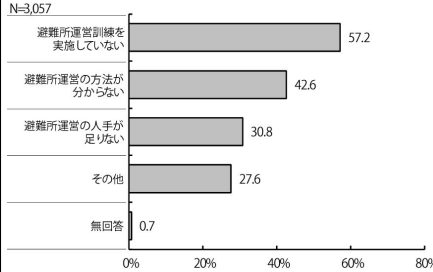
(解説)

約7割の自主防災組織が避難所運営に不安があるとされています。その理由は、避難所運営訓練を実施していない57.2%、避難所運営の方法が分からない42.6%、避難所運営の人手が足りない30.8%、避難所運営の方法が判らない42.6%、

大規模災害時の避難所運営

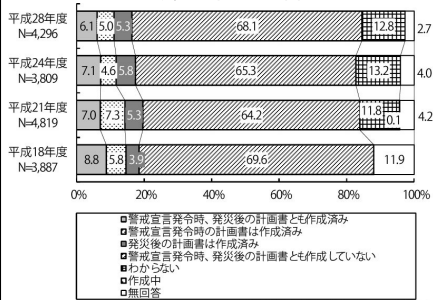


避難所運営の不安理由



避難所運営の人手が足りない30.8%となっています。県では避難所マニュアルの見直しを来年度実施。

避難生活計画書作成

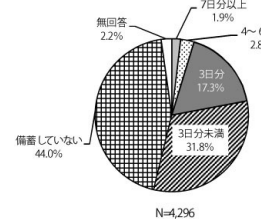


(解説)
避難所生活計画書の作成では、「警戒宣言発令時、発災後の計画書とも作成していない」が68.1%で一番多くなっています。

自主防災が備蓄する食料・飲料水

(解説)

備蓄していないが44%と一番多く、続いて3日分未満が31.8%、3日分未満から7日分以上の「備蓄している」の合計は、53.8%と過半数を占めています。



昔食べた懐かしい味をまちおこしにと、新たに「根方そば」が産声を上げた。仕掛けたのは海外勤務経験のある地元民。



東名高速富士川サービスエリアの新名所「フジスカイビュー」という名の大観覧車。眼下に富士川、駿河湾、富士山を望む。



田子の浦港東側の鈴川海岸で、防潮林となる黒松の植林が行われた。昔から高潮に苦しんできた地元民の取り組み。



県道である根方街道は大型車両による道路へのダメージが大きい。保守点検を繰り返すも住民から新たな問題提起が...

5. 議会外の視察・研究報告

林業の活性化、ラグビーワールドカップ、浜岡原発、ネジガール、CNF



森林振興の先進地、高知県。地元材を活用し、CLT(繊維方向を直交させた積層材)により強度を高めた建材を使用し、高層建築を可能とした。



ヒノキの丸棒を主材とした、立体トラスという力学的に安定した三角形の集合体を使った、縦横50m、高さ20mのアリーナの屋根。



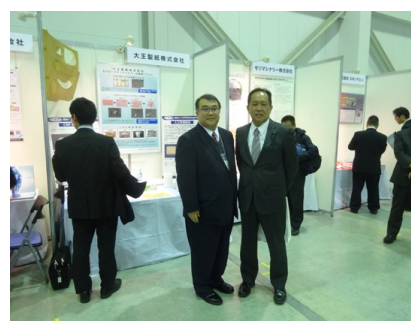
本県のエコパスタジアムは、ラグビーワールドカップ2019の開催会場の一つに指定された。設備改修の始まった現地を視察。



中部電力浜岡原子力発電所にて、新たな国の安全基準に合わせた対策の進捗状況を視察。使用済み核燃料もあることから安全対策は急務。



男女が共に創るしずおか議員連盟による、ネジを製造する企業を視察。「ネジガール」と呼ばれる彼女達は、事務所・製造現場問わず活躍する。



「ふじのくにCNFフォーラム」が富士市内で開催され、昨年8月にお世話になった、四国の製紙メーカー研究員と再会。講演のため来富。

政務活動費制度の見直し結果

静岡県議会では政務活動費制度の見直しを検討してきましたが、その結果が出て平成29年4月1日から運用されます。

本県議会では月あたり一人最大45万円の政務調査費がありますが、その用途や支払いが不明確であることを反省し、県民に説明できる制度に見直しました。私の場合、月にもよりますが、平均15万円ほどの支出(交通費、事務所費等)があります。残額は返却することになりますが、広報や県外・海外視察など支出がかさむ時に残額分を使う場合があります。

見直しの大きな点は、支出した証拠書類(領収証、政務活動概要書、視察報告書等)の詳細な内容を求めるとともに、これまで県庁内で閲覧できたものをインターネット上に公開します。

活動概要書は、県内活動分は不明確でしたが、いつ、どこへ、どのような手段で、どのような目的で行ったかを明記します。

県政報告会も活動概要書の義務化、燃料費は18円/kmの単価で計算します。会議・懇談会の参加費は制限が厳しくなりました。

県政相談窓口

地域の課題、道路・河川等の整備などについてのご相談窓口です。市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで判断致しますので、区別なくお気軽にお問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

◆2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① 災害時における広域応援体制の確立を求める意見書
- ② 受動喫煙防止対策の強化措置に関する意見書
- ③ 骨髄移植ドナーに対する支援の充実を求める意見書
- ④ 「同一労働同一賃金」の確実な実現を求める意見書
- ⑤ 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書
- ⑥ 危険ドラッグ根絶のための規制強化を求める意見書

◆ホットなつぶやき

定例会最終日、平成29年度補正予算など全議案の採決に際し、私が会派を代表し「討論」を行いました。

県政評価では県の「ふじのくに白書」と会派独自の評価を比較し白熱した論戦が交わされ、是々非々の評価であることを確認し、当局には県議会の指摘を真摯に受け止め、県民の皆様のために施策の改善等を徹底することを強く求めました。全議案ともに採択です。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2F 417-0847

☎0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/>

